

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第88号(201611)

発行 竹田幸男



大阪アマチュア映像祭開催

10月30日、今年も大阪市立中央図書館で開催され、大阪府下8団体から、それぞれ団体を代表する作品が出品され、寝屋川市映像協会からは3作品、うち映像同好会からは小笠原さんの「初冬の詩」竹田会長の「友好の懸け橋 エルトゥール号の悲劇」の2作品が上映されました。

例会の窓

平成28年10月例会

日時：10月12日（水）13：30

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷

欠席者：2名 （50音順・敬称略）

例会次第

1. 報告・連絡事項

(1) 会報 新井さん

2. 協議事項

(1) 寝屋川市映像協会摂津峡撮影会（案）

・11月15日（火） 雨天は17日（木）JR高槻駅北口京都銀行前9：45
集合

・場所 高槻・摂津峡および祥風荘 072-689-6700

・会費2500円（昼食込み）温泉入浴 入浴されない方は食事処で技術講習

(2) 本年の大阪アマチュア映像祭作品（10月30日）

・プログラム配布

(3) 今年の市民文化祭11/3 会員集合9：30～準備 10：30開演

(4) 3月のビデオ作品発表会の計画

・規模は前回並みか

・9/11 会場申し込み 今回はAVルームは取れずサークル活動室となる。

・1/11 出品作品決定

・1/22 プログラム原稿決定 ・2/8 プログラム配布

・3/11 実施

(5) 今年の忘年会 12月18日 合同例会後忘年会 がんこ寝屋川

3. 映写・研究発表（いずれも市民文化祭出品作の披露）

・竹田さん 「緑地公園の一日」8分

・妹尾さん 「青森ねぶた祭り」10分

・谷さん 「憧れの蔵王！」5分

・小笠原さん 「角倉了以の水運開削の軌跡」10分

・新井さん 「南 保次さんの挑戦」9分

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等

5. 来月の定例会 11/9 13：30 市民会館 4F





映画 釣りバカ日誌

新井 正直

今回は、映画「釣りバカ日誌」を録画し、すべてを観たので、感じたことを書きます。

以前、「男はつらいよ」を書きましたが、これは昭和に作られた長寿シリーズ映画で、釣りバカ日誌は平成生まれの長寿映画で、世の中の変化も織り込まれています。釣りバカ日誌の原作は、やまさき十三で、小学館のビッグコミックに連載されていた。脚本は、男はつらいよの脚本も手掛けた、山田洋次さんと、桜井章さんらです。

趣味と家族のために生きる「鈴木建設」に勤務する釣りバカ社員の浜崎伝助（西田敏行）と鈴木建設の鈴木一之助社長（三国連太郎）の異色のコンビが、ひょんなことで知合い、釣りでは伝助が師匠「ハマちゃん」で、社長が弟子「スーさん」という関係、会社では社長と平社員の真逆の関係だから、バレないように振舞って物語が進行します。

ストーリーの中で、常に面白くするのはハマちゃん、釣りのために有給休暇はすべて使い、親戚のおじさん・おばさんたちをすべて亡くすうそをついて、葬儀と騙して休みを取っていたが、もう親戚も使えず、会社の出張にかこつけて釣りをしているが、これもバレ、懲罰委員会で処罰されかかるが、谷啓の佐々木課長や社長に助けられます。

撮影[釣りの場所]は、各作品ごとに、ゲストも変わり、話を面白くしています。この映画では、合体の文字が、画面に大きく表示され、浜崎伝助・ハマちゃんの愛妻・みち子役の浅田美代子との仲のよさを表現し、画面の切り替えに使用されています。

浜崎家に誕生した、待望の赤ちゃん・鯉太郎（上野友）が第5作品で登場します。脇役として、谷啓の佐々木課長、中本賢の太田八郎[釣り船屋]、笹野高史の社長運転手、丹阿弥谷津子のスーさんの妻たちが話を面白くしています。

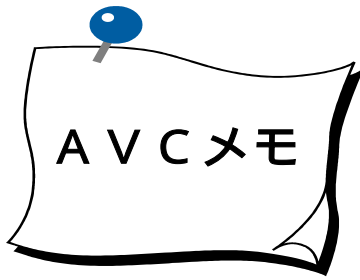
また、ほぼ全編で、ハマちゃん夫婦と鯉太郎の家に現れる、スーさんとの家庭的な雰囲気も、ドラマの展開を面白くしています。

アマチュアのビデオを制作する私たちも、個人の趣味で制作しているのでシリーズ作品が多く、マンネリ化しないように注意する必要があると思います。

観る人が、また観たいと思うものを制作することに心がけることです。同じようなテーマのビデオで、またかと思われないような企画・編集が必要だと思います。

制作順	題名	制作年	監督	脚本	ゲスト
第01	釣りバカ日誌	1988	栗山富夫	山田洋次	桃井章 江戸家猫八 名古屋章 鈴木ヒロミツ
第02	釣りバカ日誌 2	1989	栗山富夫	山田洋次	堀本卓 原田美枝子 内藤武敏 久米明

第03 釣りバカ日誌 3	1990	栗山富夫 山田洋次 堀本 卓 五月みどり 花澤徳衛
第04 釣りバカ日誌 4	1991	栗山富夫 山田洋次 関根俊夫 堀本 卓 尾美としのり 佐野量子
第05 釣りバカ日誌 5	1992	栗山富夫 山田洋次 高橋正囿、関根俊夫 乙羽信子 神戸浩
第06 釣りバカ日誌 6	1993	栗山富夫 山田洋次 関根俊夫 梶浦政男 久野綾希子、喜多嶋舞、豊川悦司
第07 釣りバカ日誌スペシャル	1994	森崎 東 山田洋次 関根俊夫 富田靖子 田中邦衛 清川虹子
第08 釣りバカ日誌 7	1994	栗山富夫 山田洋次 高橋正囿 関根俊 名取裕子 寺尾聰 山岡久乃
第09 釣りバカ日誌 8	1996	栗山富夫 山田洋次 関根俊夫 荒井雅樹 室井滋 柄本明
第10 釣りバカ日誌 9	1997	栗山富夫 山田洋次 朝間義隆 小林稔侍 風吹ジュン
第11 釣りバカ日誌 10	1998	栗山富夫 山田洋次 朝間義隆 金子賢 宝生舞 夏八木勲
第12 花のお江戸の釣りバカ日誌	1998	栗山富夫 山田洋次 朝間義隆 黒木瞳 酒井法子 市川團十郎
第13 釣りバカ日誌イレブン	2000	本木克英 山田洋次 朝間義隆 村田雄浩 桜井幸子 余貴美子
第14 釣りバカ日誌 12	2001	本木克英 山田洋次 朝間義隆 宮沢りえ 青島幸男 吉岡秀隆
第15 釣りバカ日誌 13	2002	本木克英 山田洋次 朝間義隆 鈴木京香 小澤征悦 丹波哲郎
第16 釣りバカ日誌 14	2003	朝原雄三 山田洋次 朝間義隆 高島礼子 三宅裕司
第17 釣りバカ日誌 15	2004	朝原雄三 山田洋次 朝原雄三 江角マキコ 筧利夫 吉行和子
第18 釣りバカ日誌 16	2005	朝原雄三 山田洋次 石川勝己 平松恵美子 伊東美咲 金子昇 ポビー・オロゴン
第19 釣りバカ日誌 17	2006	朝原雄三 山田洋次 朝原雄三 石田ゆり子 大泉 洋 片岡鶴太郎
第20 釣りバカ日誌 18	2007	原雄三 山田洋次 朝原雄三 檀 れい 高嶋政伸 星由里子
第21 釣りバカ日誌 19	2008	朝原雄三 山田洋次 関根俊夫 常盤貴子 山本太郎 竹内力
第22 釣りバカ日誌ファイナル	2010	朝原雄三 山田洋次 朝原雄三 松坂慶子 吹石一恵 塚本高史



数字あらかると

竹田 幸男

突然ですが、いま、「1067」の上を走っている・・・
・と思うことがあります。どういう時でしょうか。わかる人はかなりの鉄道マニアでしょう。正解は、例えばJR在来線の上を走っている、ということ。1067ミリは狭軌のレール幅、3フィート6インチをメートル法に直すと、このような半端な数字になります。同様に、例えば京阪電車や新幹線であれば1435ミリ、4フィート8インチ半、標準軌といわれます。標準軌に対して、より広いのは広軌と呼ばれ、例えばシベリア鉄道などは1520ミリとなっています。

鉄道のことはこれぐらいにして、われわれに関わる映像に関してもいろいろな数字が出てきます。

【35】35ミリ、デジタル化される前のフィルムカメラのフィルムの幅です。また35ミリ換算という言葉もあります。CCDやCMOSなどの撮影素子の種類(大きさ)が多様化し、同じ画角に対応するレンズの焦点距離も多様化して比較判断が難しくなってきたので、35ミリフィルムの場合に換算した焦点距離の仮装の数字です。

【24×36】これも、フィルムカメラに関し、いわゆるライカ版というフィルム上の画像の寸法です。1対1.5の縦横比率になります。

【525】ハイビジョンになる前のテレビ放送の走査線数です。525本の走査線を1本おきに2回走査、1秒間に約60回走査することにより1画面を形成しました。これがヨーロッパなどでは、それぞれ、

【625】【50】となります。

なぜ、このような差が出来たか、というと、テレビの信号(垂直同期信号)が電源周波数を基準としたからで、アメリカは電源周波数が60ヘルツ、ヨーロッパは50ヘルツが主流でした。日本は関西がアメリカから発電機を買い、関東がヨーロッパから発電機を買ったのでその後遺症として関東、関西で周波数が2分される分断社会となってしまいました。ヨーロッパへ行ったとき、テレビ画面が何となく、ちらちらしたように感じたのは気のせいでしょうか。それとも日本よりも1秒間の映像の枚数が少ないことを目を感じ取ったからなのではないでしょうか。ヨーロッパでは枚数が少ない分を走査線を増やす方向に向かったので、心持ち画面が精細であったように思います。

【1920】フルハイビジョン映像を構成する横方向の画素の数で、

【1080】は同じく縦方向の画素の数です。1920×1080は2,073,600(約207万)ですが、1画素は通常赤、緑、青の3副画素で構成されますから、フルハイビジョンのテレビの画面は約622万の点で成り立っていることになります。

【3840】【2160】4Kテレビの横方向、縦方向の画素の数で、フルハイビジョンのそれぞれ2倍となっています。横方向の3840が4,000に近いので、昨今一般に4Kと呼ばれています。これに対してフルハイビジョンは2Kと呼ばれています。この数字はテレビの場合であって、デジタルシネマ（映画）の場合、

【4096×2160】や、

【4096×2304】を4Kと言っているようです。

【4:3】写真や映像の横幅に対する縦幅の比率です。今や16:9が主流ですね。

【59.94】映像信号が1秒間に繰り返すフィールドの数で、フレーム数で言うと、

【29.97】になります。本来は電源同期で60フィールド、30フレームだったのですが、白黒からカラー化する際にいろいろの理由からこの数字になりました。正確には59.94i、59.94p、29.97pなどとなりますが、端数を省いて60i、60p、30pなどとも呼ばれています。

このような数字は技術の基本であり、数字をたくさん、正確に知っていることは楽しみでもあります。IT製品を買うときでも、このような数字や用語を多く知っていた方が、売り手に対しても強いメッセージを与え、取引が有利になるであろうということが想定されます。

寝屋川映像同好会 会員募集

当会では会員を募集しています。松愛会会員とご家族であれば、所属支部に関係なく入会して頂けます。

【活動内容】

■例会：日時：毎月第2水曜日 13:30～16:30

会場：寝屋川市民会館4階・市民活動センター

（寝屋川市秦町41-1 無料駐車場あり）

活動内容：各人の作品の映写と検討、映像制作上の質疑応答、活動の打ち合わせ等

撮影会：年2回程度

公開作品発表の機会：毎年11月・寝屋川市民文化祭・映像作品発表会

毎年10月頃 大阪アマチュア映像祭

2年に1回 映像同好会ビデオ作品発表会

2年に1回 寝屋川映像フェスティバル

懇親会：1月の例会前 新年食事会

12月 忘年会

その他随時研究会や講習会・レクリエーションなど開催

会費：入会金 3,000円 年会費3,000円

連絡先:メールアドレス m-pic@outlook.jp (竹田)

お願いこの会報をお読み頂いている方も多いと思います。今は読んで頂くだけの一方通行ですが、ご意見、ご感想などお寄せ頂ければ有難く思います。メールアドレスm-pic@outlook.jp（竹田）まで、ご連絡をお待ちしています。